

(添付書類用)

令和元年度 地域創生事業助成金 実績報告書 (事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

自治会連合会、自主防災会、防犯対策協議会

事業名	1	地域防災強化事業		
事業期間	令和元年 5月 ~ 令和2年 3月			
決算額	350,000 円		助成金充当額	50,000 円
事業対象者	全地区民		参加人数	100人
事業内容	・6月21日(日)8時30分~10時30分に、長時間の大雨により土砂災害警戒情報が発表され、宇部市から新川地区に警戒レベル4 避難勧告を発令されたということを想定し、新川ふれあいセンターに緊急避難場所を開設し、新川地区の土砂災害警戒区域とその周辺住民に対して避難訓練を実施した。			
事業目標	地域住民を主体とした避難者運営訓練を実施することにより、防災対策の意識向上を図ることや災害時の「自助・共助」の重要性について再確認する。			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	防災訓練参加人数	100人	100人	
	新型コロナウイルス感染症の収束の目処がたない中、避難所等における感染リスクを少なくするため、「宇部市避難所等の運営における感染症対策マニュアル」に基づき、「3密を防ぐ」などの新たな生活様式を踏まえた新型コロナウイルス感染症対策を確認することで住民の意識向上に繋がった。			
事業効果	・防災意識を高め災害に強い地域づくりを推進する。 ・新型コロナウイルス感染防止対策を見据えた避難場所の運営が多少なりとも実践できたように思う。			
今後の課題等	・新型コロナウイルス感染防止対策として受付等での「3密回避」のため受付に手間取り、避難者を長時間またせる結果となった。今後は、受付の人員を増員する、又受付場所を増設する等の対応が必要であると考えます。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	③
	今後も事業継続できますか	1	②	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 いそじ会、文教体育委員会

事業名	2	健康づくり事業		
事業期間	令和2年 5月 ~ 令和3年 3月			
決算額	350,000 円		助成金充当額	80,000 円
事業対象者	全地区民		参加人数	約100人/健康教養学級
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・いそじ会：健康教室開催、友遊サロン(毎週金曜日)、健康教養学級(毎週 火木土)・友遊サロンで新競技のポッチャ、ペタンクで健康増進中。・各市スポーツ大会参加・一日スポーツの日への参加			
事業目標	<ul style="list-style-type: none">・全地区民対象→各・市開催スポーツ大会参加 ・一日スポーツ大会への参加・高齢者対象→いそじ会健康教室開催、いそじ会友遊サロン開催、いそじ会健康教養学級開催			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	参加者人数	200人	100人	
事業効果	<ul style="list-style-type: none">・高齢者の健康意識は向上しつつあると感じる。・今後は、新型コロナウイルス環境下での小規模行事の開催検討実施が重要である。			
今後の課題等	<ul style="list-style-type: none">・新しい生活様式的环境下での健康づくりについて検討実施した。・次年度に繋がる試みは実行できたと考える。			
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	②	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	②	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	②	3
	今後も事業継続できますか	1	②	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

学校運営協議会

事業名	3	小中学校連携事業			
事業期間	令和元年 5月 ~ 令和2年 3月				
決算額	80,000 円		助成金充当額	80,000 円	
事業対象者	新川小学校、桃山中学校、教職員等		参加人数	全生徒	
事業内容	新川小学校 ・2ヵ月に1回の学校運営協議会の開催 ・誇りのもてる児童生徒の育成 ・ふるさとを愛し、夢に向かって学び続ける児童の育成 桃山中学校 ・学期に1回の学校運営協議会の開催 ・学校支援、地域貢献(地域行事開催時のボランティア活動支援/令和2年度→防災訓練)				
事業目標	新川小学校 ・誇りのもてる児童生徒の育成 ・ふるさとを愛し、夢に向かって学び続ける児童の育成 桃山中学校 ・学校支援活動の拡大 ・月1回の学校支援ボランティア				
	数値目標	令和2年目標		令和2年実績	
	学校運営協議会の開催回数	新川小学校: 6回/年 桃山中学校: 3回/年		新川小学校: 6回/年 桃山中学校: 3回/年	
	計画通り開催できた。				
事業効果	新川小学校 ・学校アンケート結果により、生徒、先生、保護者の見方がどのようなものであるかが概略掴めたようである。小中一貫教育準備等推進中である。 桃山中学校 ・地域貢献への取組みが拡大しつつある。 ・ボランティア活動をすることにより地域・保護者との信頼関係が高まり将来地域活動等への参加意欲が高まると思われる。				
今後の課題等	学校運営協議会委員として、小中一貫教育や教職員の人材育成の推進を含めて、様々な角度から意見を出し、また提案することにより学校の活性化、子どもたちのより良い成長に寄与したいと考える。				
自己評価 (3段階評価) 1: 不十分 2: 効果的 3: 非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか		1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか		1	②	3
	今後も事業継続できますか		1	2	③

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

社会福祉協議会

事業名	4	高齢者支援事業		
事業期間	令和2年 5月 ~ 令和3年 3月			
決算額	850,000 円		助成金充当額	726,000 円
事業対象者	高齢者(敬老会対象者: 75歳以上)	参加人数	・敬老会は中止 ・敬老会参列対象者1,200人	
事業内容	・地区敬老会は新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。敬老会参列対象者1,200人に記念品を贈呈した。 ・高齢者及び独居老人の交流の場の創出を行う。(茶話会の開催/2回) ・高齢者支え合い会議の開催(5回)			
事業目標	・高齢者世帯の社会的孤立や孤独死を防ぐ。			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	敬老会参列対象者への記念品贈呈	1,200人	1,200人	
	新型コロナウイルス禍で地区敬老会は開催できなかった。しなしながら、敬老会参列対象者全員に記念品贈呈を行った結果、多くの方々からお慶びの声を聞いております。			
事業効果	・住民茶和会(15-1区,15-4区,三炭町)を開催することで高齢者のコミュニティの輪作りはできたのではないかと考える。 ・新型コロナウイルス環境下のため、高齢者への見守り活動を強化することで孤独死を防げたのではないだろうか。			
今後の課題等	・令和3年度は敬老会を開催したい意向だが、新型コロナウイルスの感染状況を見極めたうえでの判断が必要である。 ・新型コロナウイルス禍においての各行事内容に工夫を凝らす必要がある。 ・自治会長等からの積極的な参加の声かけを行ってもらう。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	②	3
	今後も事業継続できますか	1	②	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

環境衛生連合会

事業名	5	ゴミ減量化事業		
事業期間	令和元年 5月 ~ 令和2年 3月			
決算額	420,000 円	助成金充当額	154,000 円	
事業対象者	全校区民	参加人数	各清掃事業で約50人が参加 (環境衛生連合会役員)	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・真締川・塩田川清掃活動 →新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。 ・環境施設見学 ・一斉空缶回収(2回) ・ポイ捨て防止啓発活動 ・地区クリーン作戦(3地区に分かれてのごみ収集作業実施) ・ごみ分別、減量化等、環境への理解の推進(3R活動・不法投棄研修会開催) 			
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・全地区民の環境に対する認識・理解度を向上させる。 			
	数値目標	令和元年目標	令和元年実績	
	各清掃事業への参加者	50人	50人	
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・新川地区民が地球環境問題に関心を少しでも持てるようになったように思う。 			
今後の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃活動に参加する地区民が徐々に限定化されていくように感じている。幅広く多くの地区民が参加できる環境作りが今後の課題と考える。 			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	②	3
	今後も事業継続できますか	1	②	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

交通安全の会

事業名	6	交通安全指導事業		
事業期間	令和2年 5月 ~ 令和3年 3月			
決算額	120,000 円	助成金充当額	30,000 円	
事業対象者	全地区民	参加人数	その都度の参加者	
事業内容	・春・夏・秋・年末年始の全国交通安全運動週間の立哨、キャンペーン活動 ・新入学児童に交通安全高揚の記念品贈呈 ・高齢運転者への運転注意喚起運動			
事業目標	・交通事故の撲滅			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	交通事故の発生件数	0件	0件	
	・交通安全の会の会員及び見守り隊の方々の安全立哨による注意喚起等が功を奏している と考える。			
事業効果	・全地区民の安全意識・認識・技術の向上が図れると考える。			
今後の課題等	・ビッグデータを活用し、特に危険なゾーンについて校区民に周知してもらうことが重要 であると考え。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果 的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	②	3
	今後も事業継続できますか	1	2	③

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

まちづくりサークル

事業名	7	校区活性化事業		
事業期間	令和2年5月 ~ 令和3年 3月			
決算額	70,000 円	助成金充当額	70,000 円	
事業対象者	全地区民	参加人数	93人	
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・花壇土づくり:参加者 4人、さつま芋苗&ゴーヤ苗植え付け:参加者 4人・そば打ち体験学習: 参加者 14人、除草作業: 参加者 4人・さつま芋収穫祭: 参加者 39人・健康について講演会開催/演題:認知症の人と理解と関わり: 参加者 10人・地域づくり学習会開催/演題:コト禍における人権~私たちにできること~:参加者6人・閉講式 次年度の活動計画について: 参加者 16人			
事業目標	・地区の様々な課題の中から自分たちで出来ることを考え、地区民間の交流・繋がりを深めながら積極的な取組で、明るく住み良い新川のまちづくりに貢献する。			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	各サークルの参加者	100人	93人	
事業効果	・新川保育園の園児による芋掘りは、園児の数も多く非情に良い交流ができた。			
今後の課題等	・将来を担う子ども達との交流を通じて理解を深めることにより、明るく住み良い新川のまちづくりに貢献できる。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	③
	今後も事業継続できますか	1	2	③

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 コミュニティ推進協議会

事業名	8	コミュニティ行事運営事業		
事業期間	令和2年5月 ~ 令和3年3月			
決算額	1,350,000 円	助成金充当額	604,000 円	
事業対象者	全地区民	参加人数	新型コロナウイルス感染防止の為 主要行事は全て中止	
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染防止のため、主要コミュニティ行事は全て中止となった。・新しい試みとして、小学生全生徒対象に新川ふれあいセンターで「花火大会」を開催した。・新型コロナウイルス感染防止対策として新しい生活様式を加味し以下の環境整備を行った。* 新型コロナウイルス感染防止対策設備設置* 防災備品の整備(防災訓練を教訓に、その際必須と感じた設備を構築)* テレワーク等推進のための教育また各種会議、講演会等で使用するプロジェクター&スクリーンの設置* 3密を避け、地区民へタイミング良く情報を発信			
事業目標	・新型コロナウイルス感染防止を目的とした新しい生活様式に順応した小規模な行事を立案し実施する。(新川ふれあいセンターで花火大会を開催)			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	3密を回避できる参加人数	各行事での最適人数	密回避できる参加者であった	
事業効果	<ul style="list-style-type: none">・小学生と父兄に参加いただき、「花火大会」を新しい試みとして開催した。・花火大会の開始前に行ったプロジェクターの映写会は、皆さんから好評であった。3会議室に分散して開催したのだが、このことが後のテレワーク推進の参考事例となった。			
今後の課題等	・新型コロナウイルスの環境下において、旧態依然としたコミュニティの主要行事優先思考を見直し、新しい生活様式に順応した小規模行事を検討実施することが必要と考える。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	②	3
	今後も事業継続できますか	1	2	③